



令和 3 年 4 月 2 1 日
海 上 保 安 庁

GWにおけるマリンレジャーの安全対策強化について

(安全推進活動期間：4月29日から5月5日までの7日間)

例年、GWは、マリンレジャー活動が活発となり、海難が増加する傾向にあります。

さらに今年にあっては、昨年から続く新型コロナウイルスの影響により、3密を回避しやすいのではないかとこの理由から、屋外レジャー活動が活発化し、事故の増加も懸念されます。

このことから、海上保安庁では、安全推進活動期間を設定し、全国でマリンレジャーの安全対策を強化します。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、政府及び各自治体から外出に係る様々な自粛要請等が出ておりますので、各地での本安全推進活動に合わせ、協力を呼びかけることとしています。

1 プレジャーボートの海難防止

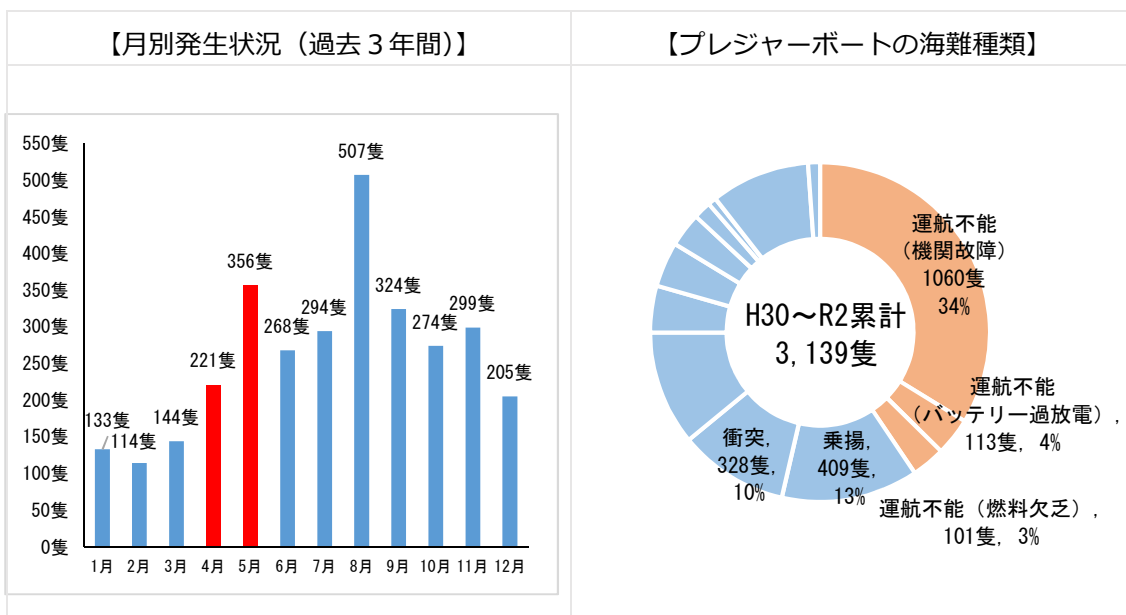
プレジャーボートの海難は春季にかけて増加する傾向にあり、海難種類別に見た過去3年間の内訳では、発航前検査や整備事業者等による定期的な点検整備で防止できる可能性のある機関故障・バッテリー過放電・燃料欠乏が全体の約4割を占めています。

上記事故発生状況を踏まえ、海上保安庁では以下の事項を中心に安全啓発活動を実施します。

発航前検査及び整備事業者等による定期的な点検整備の励行

近年はオークションサイトのほか、注目を集めているフリマアプリなどを通じた個人間取引によりプレジャーボートが流通している状況も見受けられ、整備不良の中古艇の増加が懸念されます。

長期間整備されていない船舶を使用する際は、特に入念な点検整備を実施する必要があることから、小型船舶操縦者の遵守事項に定められた発航前検査を適切に実施するとともに、整備事業者等による定期的な点検整備を重点的に実施するよう洋上やマリナー等での安全指導を強化するほか、民間ボランティアである海上安全指導員等と連携した合同パトロールを実施します。



2 ミニボートの海難防止

ミニボートは小型船舶操縦士の免許や小型船舶検査・登録が不要であることも相まって、近年、利用者が増加している一方、海難も右肩上がり増加しています。

月別に見た過去3年間の内訳では、5月の発生隻数が最も多く、海難種類別に見た内訳では気象海象や船体バランスに対する注意不足等による転覆・浸水海難が全体の約5割を占めています。

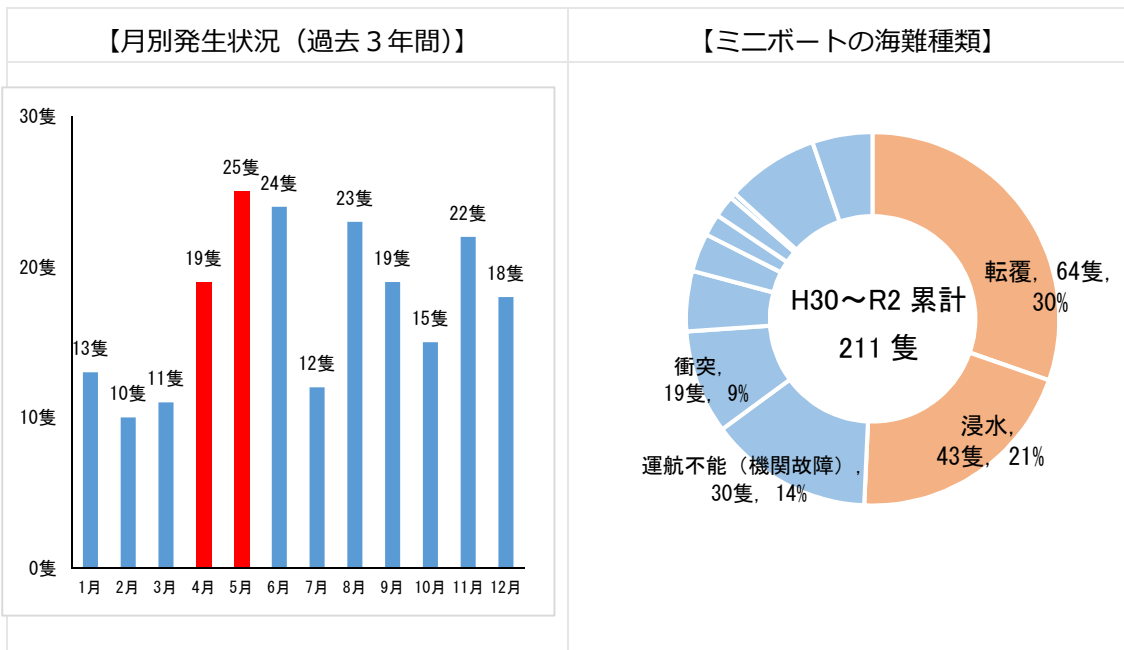
海の知識に乏しく経験年数の浅い乗船者による海難が多く発生していることから、以下の事項を中心に安全啓発活動を実施します。

（1）ウォーターセーフティガイドを活用した知識及び技量の習得

安全に安心してミニボートを楽しむためには、海上交通ルールやミニボートの特殊な構造を正しく理解することが重要なことから、ウォーターセーフティガイドを活用した安全啓発活動を実施するなど、ユーザーの知識及び技量の習得を啓発します。

（2）気象情報の常時把握

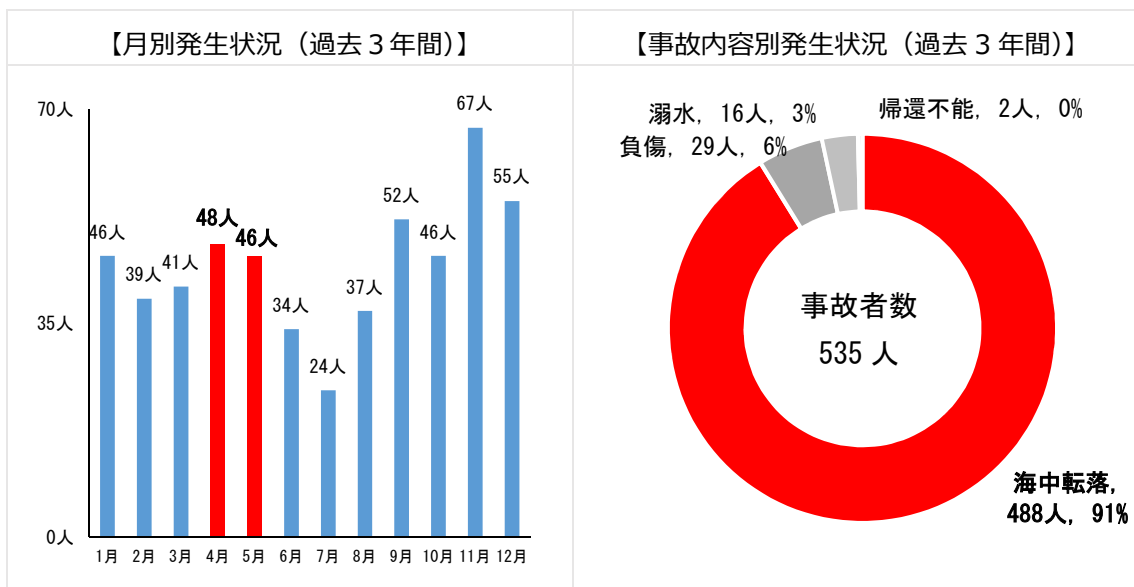
気象海象の影響による海難が多く発生していることから、「海の安全情報」のインターネット・ホームページ、メール配信サービスやテレホンサービスでリアルタイムに提供している気象海象（風向、風速、気圧、波高）の現況、気象庁が発表する気象警報・注意報、緊急情報などの情報を利用することにより、常に気象情報を把握できるため、海の安全情報を活用するように指導します。



3 釣りにおける岸壁及び防波堤での海中転落事故防止

釣り中の事故は春季にかけて増加する傾向にあり、岸壁及び防波堤から海中転落する事故が数多く発生しています。

また、釣り中の事故者のうち、5割以上の方が死亡・行方不明となっていることから、以下の事項を中心に指導、啓発活動を実施します。

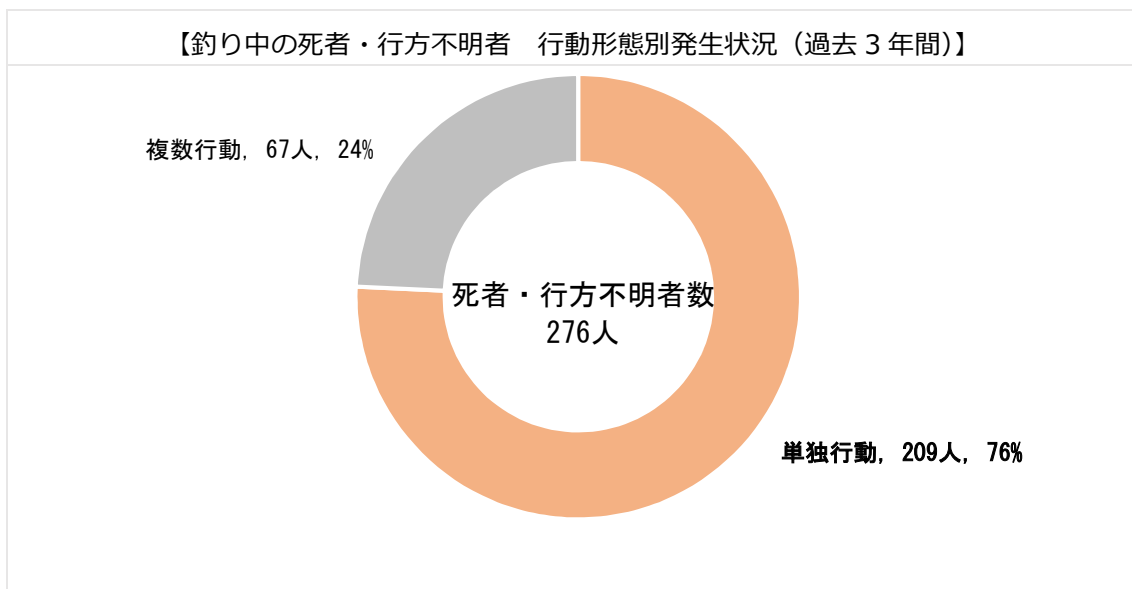


(1) ウォーターセーフティガイドを活用した知識の習得

安全に安心して釣りを楽しむためには、ライフジャケットなどの必要な装備の装着及び複数行動の励行が重要であることから、ウォーターセーフティガイドを活用した安全啓発活動を実施するなど、ユーザーの知識の習得を啓発します。

(2) 複数行動の励行

釣り中の死者・行方不明者276人のうち、約8割が単独で行動していた人でした。万が一海に落ちてしまっても、仲間と行動していれば、救助される可能性が非常に高くなるため、複数行動の励行を啓発します。



4 参考

(1) ウォーターセーフティガイド

海上保安庁では、ミニボートや釣りなどのウォーターアクティビティごとに事故防止のための情報を取りまとめた総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」を開設しております。

本年4月には多くの方に利用していただけるように同サイトのリニューアルを実施し、スマートフォンに対応したデザインや検索機能を新たに追加しました。

海に出る際は、ぜひ新しくなった「ウォーターセーフティガイド」を御活用ください。

Water Safety Guide

ウォーターアクティビティ（海辺でのレジャー活動）を安全に無事故で楽しむための総合情報サイト



Water ウォーター
セーフティガイド
Safety Guide

従来から人気のあるカヌーやミニボートに加え、近年ではSUPなどのウォーターアクティビティの
人気が高まっていますが、安全に関する十分な知識を得ることなく海へ出て、事故に遭遇してしま
うケースも増えています。
海上保安庁では、海辺のアクティビティを誰もが安心して楽しめるよう、事故防止のための情報を
発信する総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」を開設しています。

WATER ACTIVITY

 水上オートバイ	 遊泳	 カヌー
 SUP スタンドアップパドルボード	 ミニボート	 釣り

これら6つのアクティビティ毎に
安全情報を掲載しています。是非ご覧ください。

ウォーターセーフティガイド

QRコード

▶ **海の安全情報**
全国各地の灯台やライブカメラなどで観測し
た風向、風速、波高などの「海の安全情報」をリ
アルタイムに提供しています。

▶ **海難速報**
海上保安庁が広報した海
難の概要を毎日掲載して
います。

JCG 海上保安庁
JAPAN COAST GUARD

(2) 海の安全情報

海上保安庁では、海難を防止することを目的として、プレジャーボート等の小型船舶操縦者、海水浴や釣り等のマリンレジャー愛好者の方々に対して、全国各地の灯台等で観測した局地的な気象海象（風向、風速、気圧、波高）の現況、気象庁が発表する気象警報・注意報、ミサイル発射や避難警告等に関する緊急情報、海上工事や海上行事等の状況に関する海上安全情報、海上模様が把握できるライブカメラ映像等の安全に関する情報を「海の安全情報」として提供しています。

パソコンやスマートフォン、携帯電話から、簡単にアクセスできます。

海の安全情報

で

検索

パソコン用サイト



<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/>

スマートフォン用サイト



<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

携帯電話用サイト



<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>

緊急情報配信サービス



<https://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>